

北陸新幹線 早期全線開業 プロジェクトレポート



《vol.12》

日本海国土軸を形成し、分散型の国づくりや国土強靱化に資する北陸新幹線は、大阪までつながってこそ最大の効果を発揮します。

本レポートでは、北陸新幹線の整備効果や必要性を知っていただき、早期全線開業の実現を応援いただけるよう、様々な情報を随時発信していきます。

与党整備委員会・今後の貸付のあり方に関する小委員会について

令和8年3月6日、与党PT敦賀・新大阪間整備委員会は、**今国会中にルートを決める方針**を示しました。**JR西日本からのヒアリング**において、倉坂社長は、営業主体として、**小浜京都ルートが望ましい**と主張しました。

また、国土交通省は、令和7年11月に整備新幹線の開業31年目以降の貸付のあり方について議論する有識者委員会（**今後の整備新幹線の貸付のあり方に関する小委員会**）を開催し、**令和7年12月から令和8年2月にかけてJR各社（東、西、九州、北海道）へヒアリングが実施**されました。

《JR西日本の各ルートの評価》

・米原ルート（東海道新幹線乗り入れ）

2種類の鉄道システムはそれぞれが異なる進化を続けており、相互直通運転は安全・安定輸送確保の観点から非現実的

・湖西ルート（在来線活用）

長期運休に伴うご不便を多くのお客様に強いることになるため、許容しがたい

・亀岡を経由するルート

亀岡から京都市中心部までのアクセス（所要時間、輸送力）に大きな課題があり、お客様にご不便を強い続けることになるため、望ましくない

6 まとめ

1. 北陸新幹線は、関西・北陸・関東を広域的につなぎ、「日本海国土軸」（第二国土軸）を形成して、沿線地域の発展に大きく寄与することが期待されます。
2. また、激甚災害等に備えたリダンダンシー確保の観点でも重要な路線となります。
3. 敦賀駅で乗り換えが発生しているのは、あくまでも暫定的な状態だと認識しております。
4. 様々なルートが提案されている中、営業主体としては、お客様の利便性を鑑みると京都駅付近を経由して新大阪駅まで乗り換え無く結ばれ、新幹線の特色でもある「速達性」や「利便性」が最も発揮できる「小浜・京都ルート（桂川案含む）」が望ましいと考えます。

一日も早い全線開業に向けた取組みをお願い申し上げます。

与党PT敦賀・新大阪間整備委員会（R8.3.6）
JR西日本資料（抜粋）

同盟会による広報活動について

HOKURIKU+に出展しました！

北陸新幹線金沢・敦賀間開業2周年に合わせて、令和8年3月11日～17日にKITTE大阪2階「HOKURIKU+」（大阪府大阪市）に**PRブースを出展**しました！

店内のサイネージ広告におけるPR動画配信をはじめ、公式マスコットキャラクター名称の一般投票などを実施しました！



ブース出展の様子

応援メッセージが総数10,000筆を突破！

令和4年より開始した、イベント等の機会を通じてみなさまにご記入いただいた「早期全線開業に向けた応援メッセージ」が、令和7年11月の万博鉄道まつり2025 with 観光EXPOにおいて、ついに**10,000筆を突破**しました！

メッセージをお寄せいただいたみなさま、ありがとうございます！



応援メッセージ

公式マスコットキャラクターが誕生しました！

北陸新幹線の大阪までの早期全線開業を推進するため、誰からも親しまれ愛される本同盟会の公式マスコットキャラクター「**みらいゆき**」が誕生しました！みらいゆきのデザインおよび名称は、一般公募、一般投票を経て決定。自慢の脚力を活かし、敦賀までつないだバトンと北陸新幹線の早期全線開業を望むみなさんの想いを背負って元気よく大阪まで駆け抜けます。



プロフィール

- ・属性：白いユキヒョウの子ども
- ・年齢：不明（人間でいうと、推定10歳）
- ・性格：北陸新幹線を大阪までつなげるために活動する、がんばり屋さん。
- ・チャームポイント：おでこの10色の斑点。北陸新幹線でつながる10の地域（10都府県）を表している。
北陸新幹線の車掌にあこがれており、常に車掌の制服を着ている。
- ・特技：ものすごく速く走る。雪の中でも元気に走る様子は、まるで北陸新幹線のように。
- ・夢：北陸新幹線のスピード（最大260km/h）に追い付くこと。
- ・好きなこと：「旅行」と「駅伝マラソン」。北陸新幹線が大阪までつながったら東京から大阪まで北陸新幹線に乗って…ではなく、ルートに沿って走るといふ野望がある。

名前：みらいゆき



みらいゆきからのお知らせ

みらいゆきの公式Xを開設しました！
同盟会公式Xと合わせて、ぜひフォロー
お願いします！



コラム連載企画⑥

新幹線の“温泉駅”

2025年末現在、新幹線の駅（フル規格のみ）は全国に103駅もある。そのなかで、駅名に“温泉”が付くのは、黒部宇奈月温泉駅・加賀温泉駅・芦原温泉駅・武雄温泉駅・嬉野温泉駅のわずか5駅。温泉が各地に点在する日本であることを考えると、意外と少ないものである。このうち、黒部宇奈月温泉駅は、宇奈月温泉への“乗換駅”という意図が強いが、ほかの4駅は駅前から徒歩やタクシーですぐに温泉街に行ける。

“温泉駅”と主要観光地が高速鉄道で直結されるというのは、旅行者にとって魅力的なものであり、実際に長崎観光で武雄温泉や嬉野温泉に泊まる例も多くなっているという。

“温泉駅”は5駅中3駅が北陸新幹線に集中している。北陸新幹線が全通すると、東京と大阪間を、これらの温泉駅を通り結ぶことになる。このことは鉄道旅行の選択肢を増やすだけでなく、関西エリアの住民にとっても観光面での利便性向上につながるだろう。

「旅と鉄道」編集長（イカロス出版） 上野弘介



▲北陸新幹線開業日の芦原温泉駅の様子。
地元の「おかみの会」が“おもてなし”をして、温泉駅の開業を印象付けた。

北陸新幹線建設促進同盟会

事務局 福井県未来創造部
新幹線・交通まちづくり局 新幹線建設推進課
〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号
TEL:0776-20-0298(直通)

○大阪府 ○京都府 ○福井県 ○石川県 ○富山県
○新潟県 ○長野県 ○群馬県 ○埼玉県 ○東京都



同盟会HP



X



Instagram



Facebook

画像提供：イカロス出版株式会社